

指定ごみ袋料金減免調査一覧表

都道府県名	番号	自治体名	主要可燃ごみ袋		生活保護世帯等の減免	紙おむつ用袋の減免	ボランティア袋	剪定枝	落ち葉	A 減免の背景・課題・問題点 B 減免していない背景・課題・問題点	有料化実施年度	備考		
			容量	単価										
北海道	1	旭川市	40	80	○	△	無料	直径30cm×長さ1m以内の束(申込・個別収集)	無料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	19	剪定枝は、堆肥として再資源化
	2	小樽市	40	80	●	△	無料	直径30cm×長さ1m以内の束ね処理券を貼る	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	A紙おむつは減量の工夫が難しいため減免 B生活保護世帯は生活扶助費が支給されているため減免しない	17	
秋田	3	横手市	45	31	×	×	無料	直径2cm×15cm以内にし可燃指定ごみ袋へ	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	12	ボランティア袋は、旧タイプのごみ袋を利用
山形	4	米沢市	25	40	×	×	無料	50cm以下に切り可燃指定袋を巻きつける	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	11	枝を指定袋に入れる破れやすいという苦情あり。
	5	新庄市	45	50	×	×	無料	①可燃指定袋に入れる ②粗大ごみ(指定袋に入らない場合)	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	11	
	6	天童市	35	40	×	×	無料	①指定袋に入れる ②粗大ごみとして回収	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	7	
	7	南陽市	25	40	×	×	無料	可燃用指定袋に入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	A ボランティア袋 住民と協働するきれいな街づくりを 実践するために減免 B なし	11	剪定枝を入れた場合破れる苦情あり
千葉	8	木更津市	45	45	×	×	無料	直径30cm×長さ80cmに束ね処理券貼付。	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	16	
東京	9	武蔵野市	40	80	○	○	無料	直径50cm×長さ50cmに束ねる。(1回3束まで)	無料	45ℓ未満の任意の透明袋で	無料	A・剪定枝、落ち葉については緑化推進の観点から減免。(通常収集3袋・束以内 予約収集50袋・束以内) ・社会的弱者に対する減免は経済的支援	16	落ち葉の放火等を防ぐため、予約収集している。緑化を推進している関係上、無料収集している。
	10	福生市	40	60	○	○	無料	直径50cm×長さ50cmに束ねる。(1回2束まで)	無料	45ℓ未満の任意の透明袋で	無料	A. 社会的弱者への負担軽減のため	14	
	11	清瀬市	40	40	○	×	無料	直径30cm×長さ50cmに束ねる。	無料	11・12月はボランティア袋で(無料) その他の月は指定袋で(有料)	無料 有料	なし	13	
	12	稲城市	40	60	○	○	無料	直径30cm×長さ80cm以内に束ねる。(1回2束まで)	無料	任意の透明袋で(1回2袋まで)	無料	A. 社会的弱者、常時おむつ使用者への経済的負担軽減のため。おむつ袋は個別回収のため、外へ出して おくと抵抗感があるという意見有り	16	剪定枝はチップ化し堆肥等にリサイクル
岐阜	13	山県市	45	50	×	×	無料	直径3cm未満のみ 可燃用指定袋に入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	15	枝・落ち葉は大量にごみとして出すのがむずかしいので、野外焼却される問題がある。
	14	本巣市	45	50	×	×	無料	可燃用指定袋に入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	16	ボランティア袋は、旧タイプのごみ袋を利用
滋賀	15	甲賀市	45	25	×	×	無料	可燃用指定袋に入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	16	(H16 市制施行)
	16	野洲市	35	25	×	×	無料	可燃用指定袋に入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	A ボランティア袋 住民と協働するきれいな街づくりを 実践するために減免 B なし	16	(H16市制施行) 剪定枝は、束ねないで指定袋に入れるよう指導。指定袋が破れないよう、細かく裁断するか、紙に包んで指定袋に入れるよう指導。
	17	彦根市	30	11	×	×	無料	直径5cm×長さ60cm以内の枝を束ねて(1回3束まで)	無料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	14	
	18	東近江市	45	6	×	×	無料	清掃センターへ直接持ち込み	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	16	(H16市制施行)
京都	19	綾部市	45	30	×	×	無料	40cm未満にして指定袋に入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	11	
兵庫	20	篠山市	45	45	×	×	無料	可燃用指定袋へ入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	56	
	21	豊岡市	45	50	○	△	無料	可燃用指定袋へ入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	A 社会的弱者配慮のため	15	
大阪	22	貝塚市	45	9	×	×	×	可燃用指定袋へ入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	B他人の排出した指定袋に無断で入れる相乗り行為	16	剪定枝を指定袋サイズに短くしなければならぬので面倒という意見あり
奈良	23	桜井市	45	47	×	×	無料	可燃用指定袋へ入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	12	
	24	五條市	45	50	×	×	無料	可燃用指定袋へ入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	6	
	25	橿原市	45	45	○	×	無料	可燃用指定袋へ入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	A 紙おむつ使用の高齢者・乳幼児の無料配布要望有	15	
島根	26	出雲市	40	40	○	×	無料	①可燃用指定袋に入れる②径50cm×1mに束ね処理券貼付	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	A経済的負担軽減のため減免している。	13	
鳥取	27	米子市	40	60	○	△	無料	直径40cm×90cmに束ね指定袋に入れる。または処理券貼付	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	19	
香川	28	善通寺市	45	40	×	×	無料	可燃用指定袋へ入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	7	
高知	29	安芸市	45	50	×	×	無料	可燃用指定袋へ入れる	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	B 指定袋以外で集積所に出される事例がある。	12	
香川	30	高松市	40	40	○	×	無料	直径30×長さ50cm以内の束にし、可燃用指定袋に入れる、または指定袋を巻きつける(3束まで)	有料	可燃用指定ごみ袋へ入れる(3袋まで)	有料	なし	16	
福岡	31	筑紫野市	45	50	×	×	無料	可燃用指定袋に入れる。5袋まで	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	5	
	32	古賀市	45	60	×	×	無料	可燃用指定袋に入れる。	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	53	
鹿児島	33	鹿屋市	45	54	×	×	無料	可燃用指定袋に入れる。	有料	可燃用指定袋に入れる	有料	なし	13	

※生活保護世帯等の減免→○は生活保護世帯等、●は紙おむつ使用者のみ、×は減免なし

※紙おむつ用袋の減免→○は専用袋、△は可燃用袋を使用、×は減免なし

指定ごみ袋減免制度実施自治体一覧

資料-B

自治体名	収集形態	ごみ袋		指定ごみ袋減免対象世帯	指定ごみ袋減免枚数		年収集回数	その他専用袋	専用袋対象者	金額	剪定枝	金額	出し方	処理方法	落ち葉	金額	出し方	処理方法
		容量	単価		可燃	不燃												
1 旭川市	ステーション	可燃 5 不燃 10 共通 20 30 40	可燃 10 不燃 20 共通 40 60	生活保護世帯	容量10ℓ 世帯人数により	可燃用 60～100枚 不燃用 30～50枚	可燃ごみ 104 不燃ごみ 52	ボランティア専用袋	清掃ボランティア	無料	直径30cm×長さ1mに束ねる(申込・個別収集)	無料	束ねる	再資源	可燃用指定袋に入れる	有料	指定袋	焼却
				(おむつ関係) 2歳未満乳幼児のいる世帯	容量10ℓ 年齢により	可燃用 30～300枚												
2 小樽市	ステーション	可燃 5 不燃 10 共通 20 30 40	可燃 10 不燃 20 共通 40 60	(おむつ関係) 2歳未満乳幼児のいる紙おむつ常用世帯	容量20ℓ 年齢により	可燃用 25～200枚	可燃ごみ 104	ボランティア専用袋	清掃ボランティア	無料	直径35cm×長さ1mの束	80	処理券	焼却	可燃用指定袋に入れる	有料	指定袋	焼却
				(おむつ関係) 紙おむつ購入助成を受けている高齢者・障害者のいる世帯	容量30ℓ 市の助成時期により	可燃用 25～100枚												
9 武蔵野市	個別	可燃 5 不燃 10 共通 20 40	可燃 10 不燃 20 共通 40 80	生活保護世帯 児童扶養手当支給世帯 特別児童扶養手当支給世帯	容量20ℓ (1世帯4人まで) 容量40ℓ (1世帯5人以上)	可燃・不燃用共通 140枚 可燃・不燃用共通 140枚	可燃ごみ 104 不燃ごみ 52	おむつ専用袋 (個人任意袋 45ℓ半透明)	清掃ボランティア	無料	直径50×長さ50cmの束 3束または3袋 まで 予約 1回50束または 50袋まで(任意袋)	無料	束ねる 任意袋	再資源	45ℓの半透明袋 3袋まで 予約 1回50袋 まで	無料	任意袋	焼却
10 福生市	個別	可燃 5 不燃 10 共通 20 40	可燃 7 不燃 15 共通 30 60	生活保護世帯 児童扶養手当支給世帯 老齢福祉年金受給世帯 身体障害者、知的障害者1・2級等 (住民税非課税世帯)	容量10ℓ(1世帯1人) 容量20ℓ(1世帯2人) (1世帯3人以上) 1人につき容量20ℓ	容量20ℓ(1世帯2人) 可燃用100枚・不燃用20枚 可燃用50枚 不燃用10枚 追加	可燃ごみ 156 不燃ごみ 17	おむつ専用袋 10ℓ袋 1回20枚 45ℓ袋 1回20枚 (何回でも可)	乳幼児 高齢者	無料	直径30×長さ50cmの束 2束または2袋(任意袋) それ以上はリサイクル センターへ申し込み	無料	束ねる 任意袋	焼却 再資源	任意袋2袋 まで	無料	任意袋	焼却
				ボランティア専用袋	清掃ボランティア	無料	長さ50×直径30cmの束 (量の制限なし)	無料	束ねる	再資源	11～12月 上記以外の月 可燃ごみ袋で出	有料	指定袋	焼却				
11 清瀬市	ステーション	可燃 5 不燃 10 共通 20 40	可燃 7 不燃 10 共通 20 40	生活保護世帯 児童扶養手当支給世帯 特別児童扶養手当支給世帯	容量20ℓ(1世帯4人以下)・40ℓ(5人以上)	可燃用 96枚・不燃用24枚	可燃ごみ 104 不燃ごみ 24	ボランティア専用袋	清掃ボランティア	無料	長さ50×直径30cmの束 (量の制限なし)	無料	束ねる	再資源	11～12月 上記以外の月 可燃ごみ袋で出	有料	指定袋	焼却
12 稲城市	個別	可燃 5 不燃 10 共通 20 40	可燃 8 不燃 15 共通 30 60	生活保護世帯 児童扶養手当支給世帯 特別児童扶養手当支給世帯	容量20ℓ 容量20ℓ	可燃用 120枚 不燃用 30枚	可燃ごみ 104 不燃ごみ 24	おむつ専用袋 容量20ℓ 120枚	4歳未満の乳幼児 障害者 65歳以上の高齢者	無料	1回 2袋(任意の袋) または2束	無料	束ねる 任意袋	再資源	1回 2袋 (任意の袋)	無料	任意袋	焼却
				ボランティア専用袋	清掃ボランティア	無料	1回 2袋(任意の袋) または2束	無料	束ねる 任意袋	再資源	1回 2袋 (任意の袋)	無料	任意袋	焼却				
21 豊岡市	ステーション	可燃 20 不燃 30 共通 45	可燃 25 不燃 35 共通 50	生活保護世帯	(1世帯2人まで) 容量30ℓ 容量45ℓ	可燃用 100枚 不燃用 10枚	可燃ごみ 104 不燃ごみ 12	ボランティア専用袋	清掃ボランティア	無料	可燃用ごみ袋に入れる	有料	指定袋	焼却	可燃用指定袋 に入れる	有料	指定袋	焼却
				(1世帯3人以上) 容量45ℓ	可燃用100枚 不燃用10枚	紙おむつ助成高齢者世帯 紙おむつ助成障害者世帯												
25 檜原市	ステーション	可燃 20 不燃 30 共通 45	可燃 20 不燃 30 共通 45	生活保護世帯	容量30ℓ	可燃用のみ100枚	可燃ごみ 104	ボランティア専用袋	清掃ボランティア	無料	直径3cm×長さ30cm以内	有料	指定袋	焼却	可燃用指定袋 に入れる	有料	指定袋	焼却
26 出雲市	ステーション	可燃 20 不燃 40	可燃 20 不燃 40	生活保護世帯	容量20ℓ(1世帯1人) 40ℓ(1世帯2人以上)	可燃用100枚 不燃用10枚	可燃ごみ 104 不燃ごみ 12	ボランティア専用袋	清掃ボランティア	無料	直径50cm×長さ1m以内に束ねる (指定袋または処理券を貼る)	有料 40	指定袋 処理券	焼却	指定ごみ袋に 入れる	有料	指定袋	焼却
27 米子市	ステーション	可燃 10 不燃 20 共通 40	可燃 15 不燃 30 共通 60	生活保護世帯 児童扶養手当支給世帯 特別児童扶養手当支給世帯 特別障害者手当支給世帯 老齢福祉年金受給世帯 要介護4以上の世帯	容量40ℓ	可燃用のみ 40枚	可燃ごみ 104	ボランティア専用袋	清掃ボランティア	無料	90×40cmに束ねる (指定袋または 処理券を貼る)	有料 60	指定袋 処理券	焼却	指定ごみ袋 に入れる	有料	指定袋	焼却
				ストマ・おむつ助成の身体障害者 2歳未満乳幼児の紙おむつ常用世帯	容量40ℓ	可燃用 40枚												
30 高松市	ステーション	可燃 10 不燃 20 共通 30 40	可燃 10 不燃 20 共通 30 40	生活保護世帯	容量30ℓ	可燃・不燃共通 120枚	可燃ごみ 104 不燃ごみ 24	ボランティア専用袋	清掃ボランティア	無料	直径30cm×長さ50cm以内に束ねる (2束以下) 指定袋に入れるか、束にして 指定袋を巻きつける	有料	指定袋	焼却	容量40ℓ 可燃用2袋以内	有料	指定袋	焼却

平成17～18年度ごみ袋有料化実施近畿圏自治体の減免状況

資料-C

	有料化 実施 年度	可燃ごみ袋		指定ごみ減免対象世帯	指定ごみ袋減免枚数	年収集 回数	減免理由	
		容量	単価					
京 都 府	京都市	18	5 10 20 30 45	5 10 20 30 45	①新生児のいる世帯 ②市紙おむつ等助成を受けている高齢者のいる世帯 ③市紙おむつ等の助成を受けている障害者のいる世帯 ④腹膜透析を行っている者のいる世帯 ※腹膜透析をおこなっている者の特定は医療機関に減免申請書を送り証明をもらう	①容量30L 可燃用40枚(1回のみ) ②容量30L 可燃用60枚/年 ③容量30L 可燃用60枚/年 ④容量30L 可燃用60枚/年	104回	・紙おむつ等は、ごみ減量を工夫しても一定の限界があるため。 ・生活保護世帯は、生活扶助費を支給されており、ごみ処理費負担の公平化を図るため減免はしていない。
	舞鶴市	17	10 20 30	8 17 26	①紙おむつ使用の乳幼児のいる世帯 ②紙おむつを常用している高齢者	①容量20L おむつ専用100枚/年 ②容量20L おむつ専用100枚/年	104回	・紙おむつは、ごみ減量を工夫しても一定の限界があるため。
	宮津市	18	15 30 45	15 30 45	紙おむつを使用している2歳未満の乳幼児のいる世帯	容量30L 可燃用 120枚/年	104回	同上
大阪府	泉佐野市	18	20 50	20 50	①紙おむつ使用して0歳児のいる世帯 ②紙おむつを使用している介護保険要介護・要支援の高齢者のいる世帯 ③紙おむつの支給を受けている障害者のいる世帯	容量50L 可燃用 120枚/年	104回	同上